



2024年(令和6年)5月度 理事会 議事録

【日時】 2024年5月12日(日) 9:00開始 -11:15終了

【場所】 Zoom

【出席者】 (理事) 稲葉、佐藤、竹政、柳、村田、

(監事) 土屋、泉山

(欠席;カッコ内は議決権委任者) 西久保、浅田(稲葉)、古谷(柳)

【審議開始準備】

・ 議事進行者、書記、議事確認者を議長より指名 書記:竹政 承認者: 西久保、稲葉、浅田

・ 前回までの理事会からの宿題事項確認 … 各審議事項、報告事項の中で対応

・ NSPE 会費補助申請について:補助対象者は、NSPE などについての、調査・研修報告をマガジン等へ投稿発表の義務有り、3月理事会時点で未実施の補助金申請者が有り、4月発行のマガジンへの投稿がされれば、補助を認めるとの決定がなされた。実施結果は5月理事会までの宿題となった。

(結果)マガジン投稿有り、申請者への NSPE 会費補助は実施された。

【審議事項】

1. 会員数推移 (会員) Shiryo -S01

3月度理事会 PE 191名 PES 1名 PEN 53名 FE 41名 ST 6名 合計 309名

5月度理事会 PE 181名 PES 2名 PEN 53名 FE 34名 ST 6名 合計 290名

総会の議決権成立投票数について、毎年、3月-5月は会員の入退会者の数字増加で会員数が大きく変化する時期であり、どの時点の数字を採用するかを話し合った。その結果、5月理事会時点の会員数を母数とすることで決定した。今後も、実務上 5月理事会時点の会員数を総会議決母数に使用することが確認された。

2. 2024年度総会議案書(会計)..... Shiryo -S02

2024年6月8日実施予定の第24回総会議案書の原案が作成された。その内容に付き、提出前の理事会検討が行われた。

(1) 第1号議案:2023年度活動報告、及び決算報告の件の内容についての検討が行われた

- ・ 会員主体の活動増加
- ・ PEライセンス自体に対する発信強化
- ・ JSPEの会員価値の向上

以上の活動主3項目の内容について話し合った。その中で、次のような意見が出された。

- 活動実施の数字を挙げて、説明しているが、前年比較が有ると説得力が有り会員が理解し易い
- 活動が足らなかった点も挙げ、その改善策を24年度活動計画とリンクさせて記述することで、議案書の全体の流れが、良く理解できるようになる

(2) 2023年度、決算(23年度活動計画と結果、実施行事、貸借対照表結果)

- 2023年度決算では、監査時に管理費と事業費がおおよそ半々になっている。東京都のNPO規定では管理費合計が50%未満なので2024年度予算ではこの点に留意し、計画案を策定する必要がある。
- 2023年度の結果予算比較の中で、ボランティア評価費用はその他経費と分けて記載する。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

(3) 第2号議案:2024年度活動計画案、及び予算案の件について検討が行われた。

- 会員主体の活動増加
- PEライセンス自体に対する発信強化
- JSPEの会員価値の向上
- 会員主体の活動増加では、CPD発行数は995.5Hrsとなり、今年度は増加している。前年はおおよそ800Hr程度であった。
 - 2023年度よりの活動計画3項目(会員主体の活動増加、PEライセンス自体に対する発信強化、JSPEの会員価値の向上)については2023年度活動結果を踏まえ、2024年度は何をどのように対応し、何を行うかが説明されていると分かり易い。文章上工夫して欲しい
 - PEライセンス自体発信強化の項目では、フェースブックなど、SNSを通じた発信は増加している。今後はより具体的なデータを取り入れ、なるべく公開し発信を行って欲しい
 - 各理事、幹事は総会議案書原稿の記述について、改良案、記述提案を行ってほしい。現在の文章に対し、より説明内容が把握し易くなり、文章も分かり易くなるよう具体的な提案をして欲しい。5月14日(火)に上記内容を反映し、理事内に展開し、17日(金)まで修正期間とする。
 - ・各部会の特記する活動
 - ・予算案について
 - (会計部会)会費納入のサブスクリプト化(自動継続方式)が進展中である。西久保会長中心の推進であるが、個人に過度な業務負荷が掛からぬよう注意する
 - (企画部会)新たに「JSPEのあり方を考える会」2ヶ月に1度位の割合で開催予定になっている。新たに予算計上した。2023年度で検討項目になっていた書籍の出版事業については、2023年度に実行を検討する企画案スライド資料が作成され、企画部長へ提出済み。本件の検討の時間が取れない状態。「JSPEのあり方を考える会」の中で検討項目とする意の1案との意見も出された。
 - (広報部会)JSPEマガジンの形態を新た現在のマガジン形式よりニュースリリース形式に変更する計画を推進している。表紙・目次などの制作の省人力化を図ると共に、発信力強化を目的としている。

(4) 2024年度予算案、活動計画、役員一覧、役員構成案

次のような意見が出され、意見交換がなされ、会計部会より2024年度予算案について、3月理事会からの大きな変更点は以下となる。

- 企画部会にて、「JSPEのあり方」の費用(会議費)を計上したこと
- 広報部会にて、記事配信の業務委託費を計上したこと
- 事務局にて、総会の会場費を管理費のみだったところを管理費と事業費に分割したこと

3. 会員表彰候補(会員)

活動に積極的に参加していただいたことを重視し、理事を除いたイベントへの参加回数で多い方を主な選定理由とした。他にJSPEマガジンへの寄稿も考慮したが、ほとんどが外部情報収集制度によるか、理事からの寄稿が多いのとの理由で対象外とした。以下3名がJSPEイベントに7回参加されており、今回の会員表彰対象とした。

- PE0222 山口雅弘様、



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

- PE0325 寺岡駿輔様、
- PE0291 大場彰様

会員表彰対象者には総会出席要請を会員部会より行う。出席される場合には懇親会費用について、表彰対象者は支払い免除にすることが決定された。

【報告事項】

1. 事業報告書のまとめ(事務局)

各部会の2023年度活動報告の原稿が提出された。また、4月24日に行われた2023年度決算に対する会計監査の監査報告書が会計報告結果および監事捺印済みの監査報告書が提出された。以上の原稿を取りそろえ、事業報告書を印刷会社へ発注した。

2. 日本工学会への出席報告(広報)

日本工学会の会合へ出席した報告がされた。工学会の会議中で参加団体に対し、日本工学会より政府に対し科研費増額請願を行う提案が出され採用となった。請願への参加要請は3段階に分かれている。当会にも要請があり5月15日が提出期限である。理事会で検討の結果、未だ、当協会は参加したばかりで工学会活動内容を十分把握できていないので、検討の結論として、今回は賛同要請の、3段階の内、具体的な行動の伴わない、「請願趣旨に賛同する」という内容で提出を決定した。回答は広報部会より日本工学会へ行う。

【次回理事会予定】 2024年7月14日(日) 9:00～

【議事承認印】

承認	2024.05.19 西久保 東功
承認	2024.5.16 浅田 剛
承認	2024.05.13 稲葉 光亮
書記	2024.05.12 竹政 一夫